

中央図書館等再整備に係る基本設計について
～建築コンセプトとフロア整備のイメージ～

1 趣旨

中央図書館等の再整備に係る基本設計については、令和4年度広島市一般会計予算に対する付帯決議に沿って、オープンハウス型説明会及び障害者団体説明会において利用者から、また、広島市社会教育委員会及び広島市立図書館協議会において有識者から、新たに整備する中央図書館等のレイアウトに関する意見を聴取し、これを広く取り入れた基本設計案を作成したので報告する。

2 広島市立中央図書館等再整備基本計画（以下「基本計画」という。）の反映

(1) 再整備におけるコンセプト及び再整備方針の概要

中央図書館等の再整備においては、新たな図書館が誰もが学び、憩う『平和文化』の情報拠点、すなわち「誰もがより読書を楽しみ、広島の魅力や平和への思いを学ぶことができる情報拠点」を目指すことをコンセプトとしている。

また、再整備方針として、中央図書館等が備えている基本的な機能（読書、学び、交流等の場の提供）を、次世代を担うことになる若者を含む多くの市民のみならず、広島広域都市圏内や国内外から来訪する多くの者が容易に利用できるようにするとともに、広島に関する蓄積された様々な図書資料も活用した広島の『平和文化』に係る情報発信も強化することにより、以下の機能・サービスの充実を図ることとしている。

中央図書館で発揮すべき機能・サービス

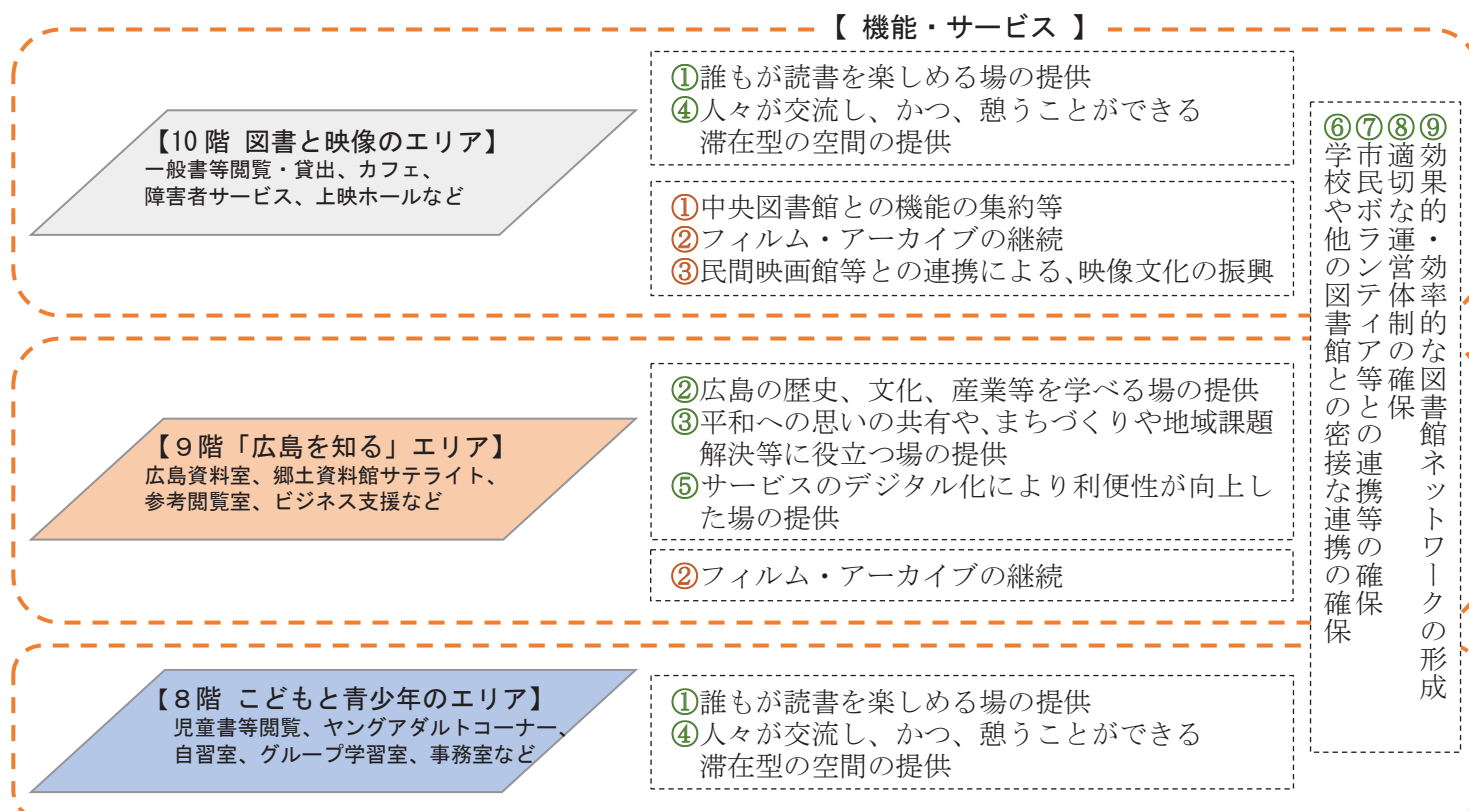
- | | |
|-----------------------------------|----------------------------|
| ①誰もが読書を楽しめる場の提供 | ⑤サービスのデジタル化により利便性が向上した場の提供 |
| ②広島の歴史、文化、産業等を学べる場の提供 | ⑥学校や他の図書館との密接な連携の確保 |
| ③平和への思いの共有や、まちづくりや地域課題解決等に役立つ場の提供 | ⑦市民ボランティア等との連携等の確保 |
| ④人々が交流し、かつ、憩うことができる滞在型の空間の提供 | ⑧適切な運営体制の確保 |
| | ⑨効果的・効率的な図書館ネットワークの形成 |

映像文化ライブラリーで発揮すべき機能・サービス

- | | |
|----------------|------------------------|
| ①中央図書館との機能の集約等 | ③民間映画館等との連携による、映像文化の振興 |
| ②フィルム・アーカイブの継続 | |

(2) 基本計画を踏まえた機能・サービスの配置

基本計画を踏まえ、各階に以下の機能・サービスを配置する。



3 広島らしい図書館の実現

基本計画に掲げるコンセプトの具現化に加え、図書館としての更なる魅力の向上を図るため、本市の地理的特性や都心まちづくりの考え方を建築空間に反映させることにより、「広島らしい」図書館を実現する。

【地理的特性】

- ・緑豊かな山々や丘陵に囲まれた立地
- ・デルタの6本の川・似島や金輪島などの島々が織りなす多島美
- ・古くから京へと続く往来の要衝として宿場や屋台などのにぎわいを生み出してきた「水の都の象徴的な空間」としての猿猴川周辺

【「ひろしま都心活性化プラン」によるまちづくりの考え方】

<都心の目指す姿>

- ・広島の魅力が人を惹きつけ、にぎわいと交流を生み出す。
- ・市民や世界中からの来訪者も往来しやすく回遊できる。
- ・豊かな水と緑に囲まれ、多様な世代が安全・安心で快適に生活できる。

<都心回廊づくり>

- ・人が中心となる回遊ネットワーク
- ・おもてなしを創出する水・花・緑のネットワーク

建築空間に取り入れるべき要素

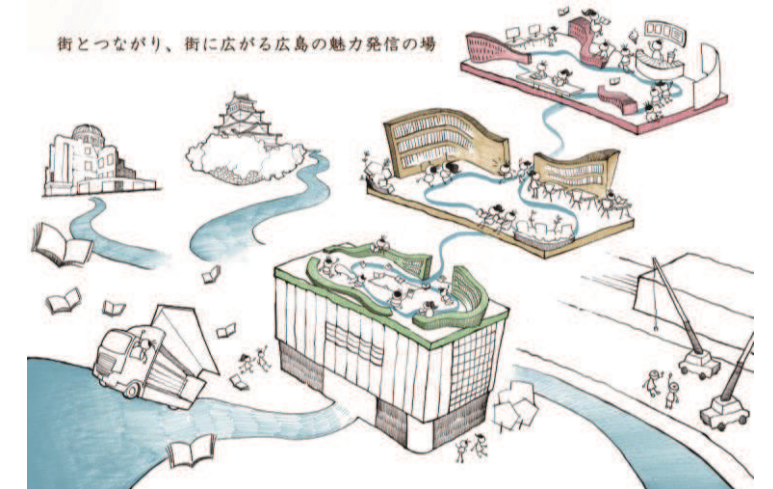
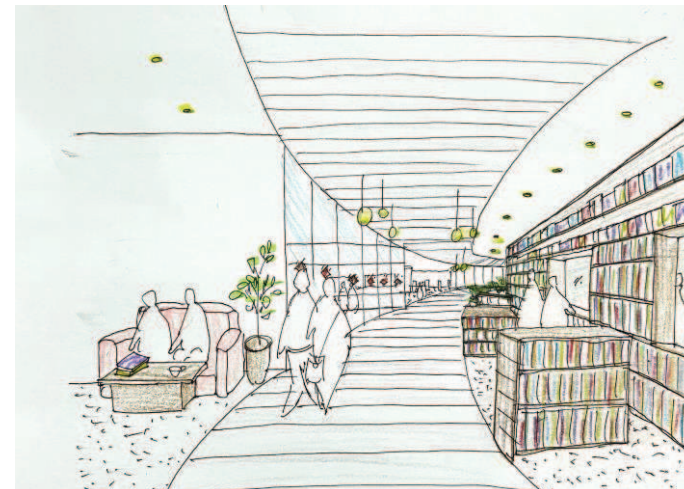
- ・6本の川や水辺のイメージを取り入れることにより、「広島らしさ」を表現する。
- ・「ひろしま都心活性化プラン」の目指す「都心回廊」のコンセプトを各フロアに再現し、歩き・寄り道したくなるような図書館を作ることにより、来訪者が様々な情報発信や学びの場を巡り、本と人との出会い・人と人との交流を生み出す。
- ・特に「水・花・緑のネットワーク」のコンセプトを建築に取り入れ、居心地の良い憩いの空間を生み出す。

4 中央図書館の「建築コンセプト」

「2 基本計画の反映」及び「3 広島らしい図書館の実現」のための建築コンセプトを以下のとおり定め、各フロアのレイアウトに反映した。

「めぐりミチ～めぐる広島、ふれあう図書館～」ー広島のまちをめぐる体験を通して、本と人がふれあうー

- ・「めぐり」歩くことをイメージさせる“広島らしい”「ミチ」（回遊動線）を館内にめぐらせることで、来館者はその変化に富んだ魅力的な「ミチ」に誘われつつ、館内を散策する。
- ・「ミチ」沿いには「読書」と「憩い」と「学び」の空間が「連続する」あるいは「混ざりあう」形で配置され、利用者が「ミチ」をめぐる中で、「本や人と出会う」「新たな広島を知る」体験ができる。



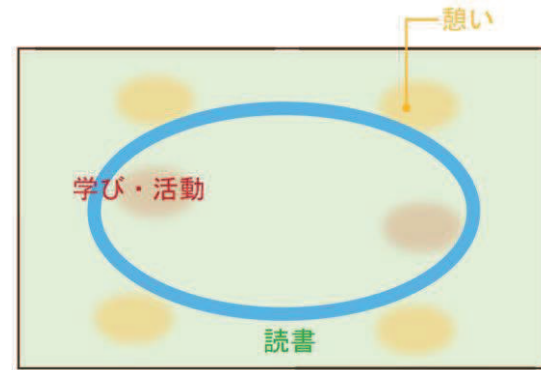
5 フロア毎のレイアウトイメージ (来館者エリア)

来館者用フロアについては、建築コンセプトで示したとおり、広島を“めぐり”歩くことをイメージさせる動線づくりを行う。フロア毎のレイアウトのイメージは以下のとおり。

【10階】図書と映像のエリア

「ミチ」のイメージ “散策する”

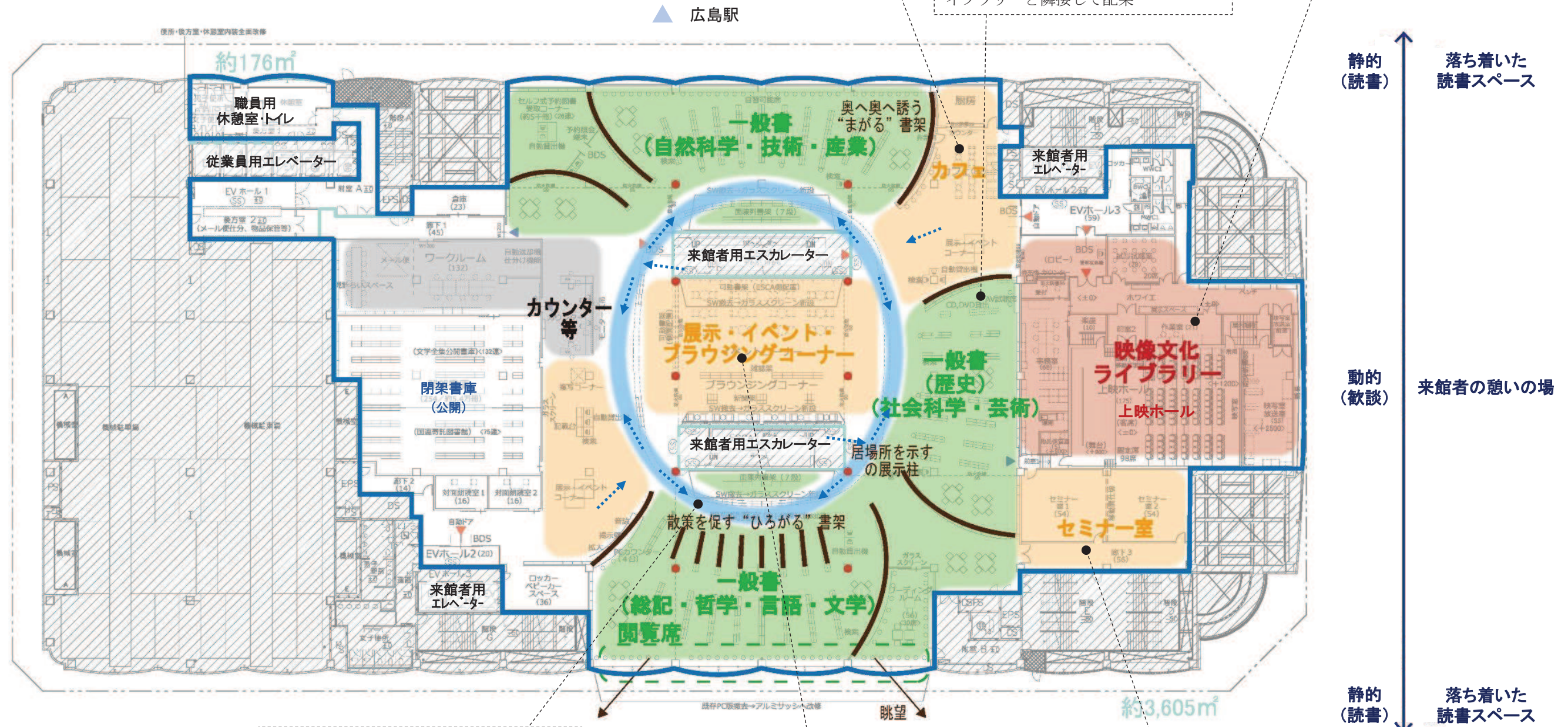
開架書架を多方向で配置し、また、所々に多彩な閲覧スペースを設けることにより、たくさんの本の中で学び憩える空間とし、新たな知識との出会いや様々な発見・アイデアを生み出す。このため、「ミチ」は様々な分野の本の森の中を散策するように配し、その周辺に読書のための居場所を設ける構造とする。



【カフェ】
カフェ等で買った飲物を図書館や上映ホールに持込め、ゆったり本を読みながらの利用や、上映までの待ち時間にも利用できるよう映像文化ライブラリーにも隣接して配置

【映像文化ライブラリー】
・ロビーと図書館が直結する配置とし、図書館と一体化
・デジタル上映に対応した機材を追加整備

【映像関係資料】
映画・映像関係の図書と視聴覚資料などが一体的に利用できるよう映像文化ライブラリーと隣接して配架



様々な分野の書架の間をめぐることによって、新しい発見や知識と出会うことができるよう主動線として「ミチ」(回遊動線)を配置

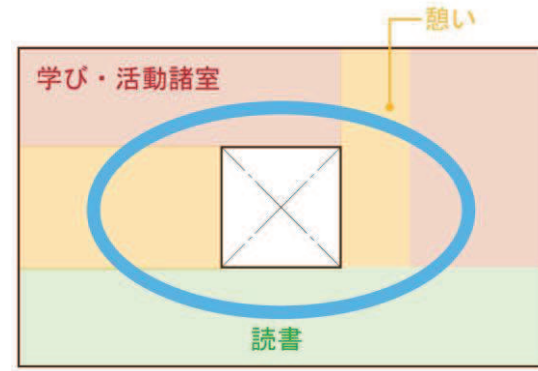
【展示・イベント・ブラウジングコーナー】
主動線である「ミチ」から常に展示やイベントの様子が見えるように中央に配置

【セミナー室】
図書に関する講座や起業や経営革新等のセミナー、様々なイベントや講演会等を実施

【9階】「広島を知る」エリア

「ミチ」のイメージ“通り抜ける”

各コーナーに壁や仕切りを極力作らず、通り抜けできることで、広島の歴史、文化等の図書資料や展示された郷土資料に歩きながら気軽にふれる空間とし、広島を知るきっかけをつくる。このため、「ミチ」と本や活動諸室が交差する構造とする。



【郷土資料館サテライト】
 広島の地形、歴史、文化、名所等について、デジタル技術や体験型コンテンツを活用して、分かりやすく解説・紹介

【文化作品展示コーナー】
 北側来館者用エレベーターからの来館者が最初に目にするエリアに、広島ゆかりの文化人等の作品展示や紹介コーナーを配置

【北側来館者用エレベーター】
 広島駅からペDESTリアンデッキで接続されるため、多数の来館を想定

【参考図書エリア】
 調べもの用のパソコンコーナーや商用データベース、レファレンスなどを行うカウンターに隣接して配置

▲ 広島駅

動的
(見学)

展示を見ながら
軽歩行

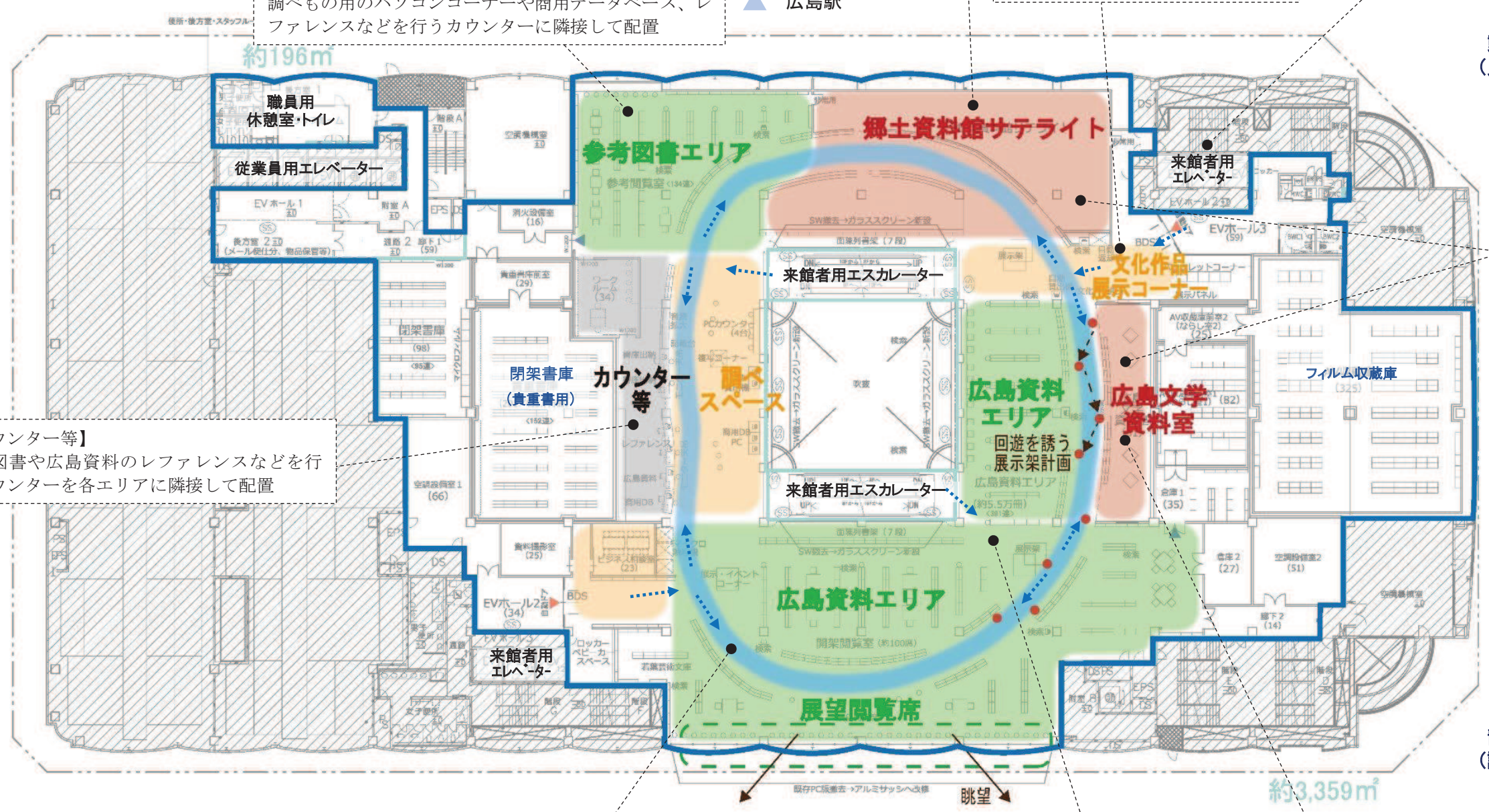
【展示コーナー】
 北側来館者用エレベーターから文化作品展示コーナーを通過してすぐのエリアに、広島文学資料室や郷土資料館サテライトなど実物資料等により視覚的に広島の歴史・文化に触れる展示コーナーを配置

調べものなど
座位の空間

静的
(読書)

落ち着いた
読書スペース

【カウンター等】
 参考図書や広島資料のレファレンスなどを行うカウンターを各エリアに隣接して配置



歩きながら気軽に様々な資料に触れることができるよう、様々なコーナーを「通り抜ける」主動線として「ミチ」(回遊動線)を配置

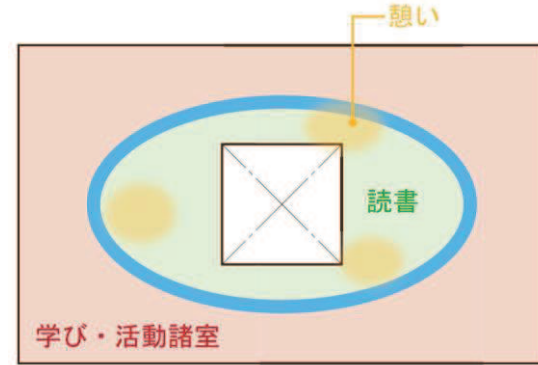
【広島資料エリア】
 ・広島市を中心とした地域資料や原爆・平和関係資料、文化・スポーツ関連資料を配架
 ・広島文学資料室で実物資料等に触れ、さらに図書資料で知識を深められるよう誘導

【広島文学資料室】
 広島ゆかりの作家の文学資料等を展示

【8階】こどもと青少年のエリア

「ミチ」のイメージ“包まれる”

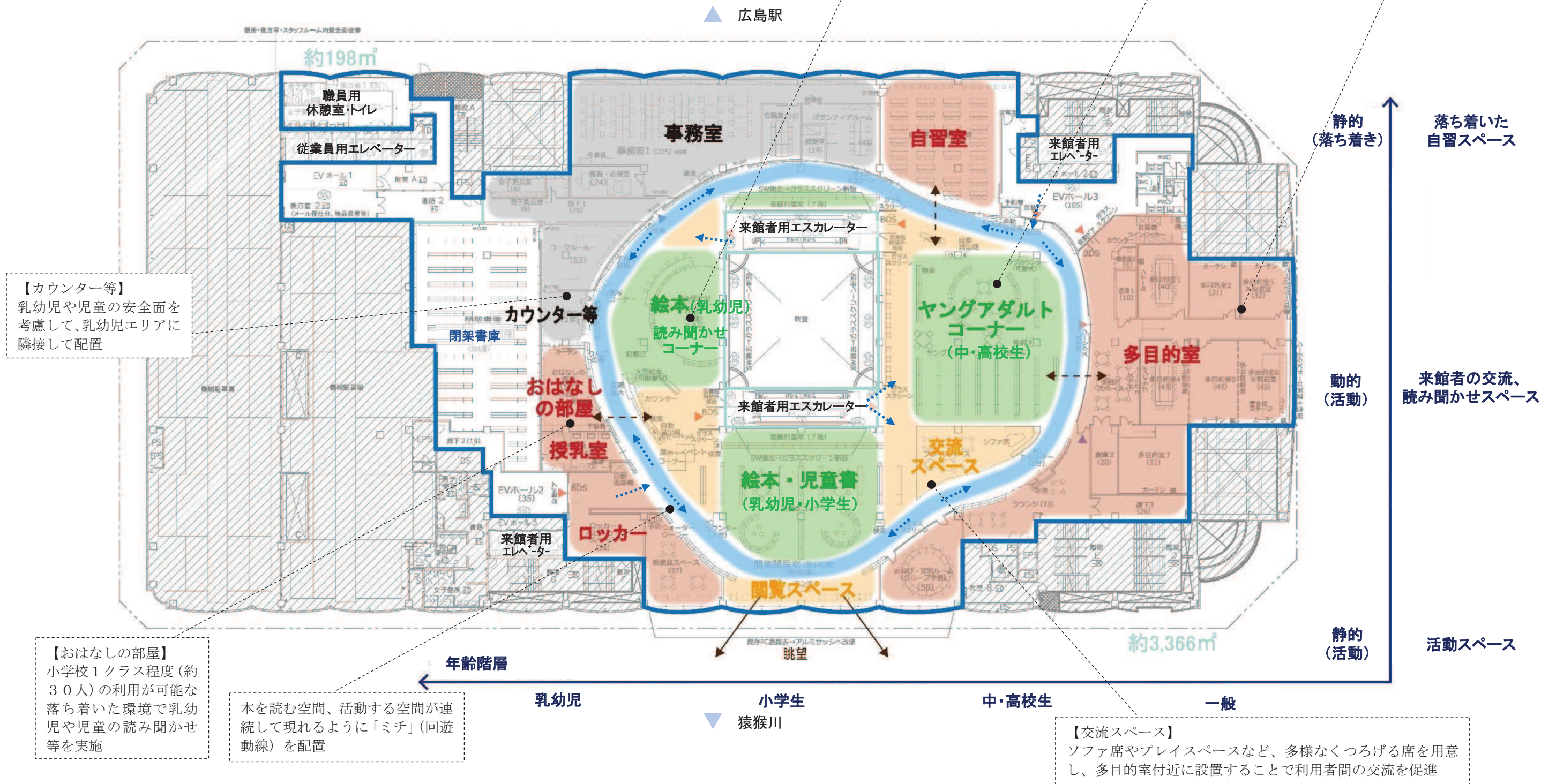
様々な閲覧スペースや学び・活動のスペースを設けることにより、本と学びの接点を生み、本に包まれながら、自由に学べるような空間とし、こどもや青少年が本を好きになる出発点となるようにする。このため、「ミチ」沿いに本と活動諸室が隣接する構造とする。



【絵本・読み聞かせコーナー】
 ・絵本の読み聞かせなどができる、靴を脱いでくつろげるスペースを設け、付近に育児書などの子育て関連の図書を配架
 ・保護者が見守りしやすいように周辺には席を設置するとともに、安全面を考慮して職員も見守れるようカウンター付近に配置

【ヤングアダルトコーナー】
 「好きを見つける」「未来を考える」「歴史を知る」などのテーマ別に図書を配架し、中・高校生が本に興味を持ちきっかけとなるようにするとともに、多目的室と隣接して配置することで相互利用を促進

【多目的室】
 利用者の動線を考慮して来館者用エレベーター付近に設置し、会議室やセミナー室としての利用のほか、ダンスや演劇を行うことができるよう壁面に鏡の設置や防音対策を実施



【カウンター等】
 乳幼児や児童の安全面を考慮して、乳幼児エリアに隣接して配置

【おはなしの部屋】
 小学校1クラス程度(約30人)の利用が可能な落ち着いた環境で乳幼児や児童の読み聞かせ等を実施

本を読む空間、活動する空間が連続して現れるように「ミチ」(回遊動線)を配置

【交流スペース】
 ソファ席やプレイスペースなど、多様なくつろげる席を用意し、多目的室付近に設置することで利用者間の交流を促進

6 広島らしさを感じさせる空間づくり

来館者用フロアについては、建築コンセプトで示した、広島を“めぐり”歩くことをイメージさせる動線づくりに加え、今後行う実施設計や備品購入において、「広島の風景」及び「広島の伝統や文化」のイメージを取り入れ、「広島らしさ」を想起させるような演出を行う。

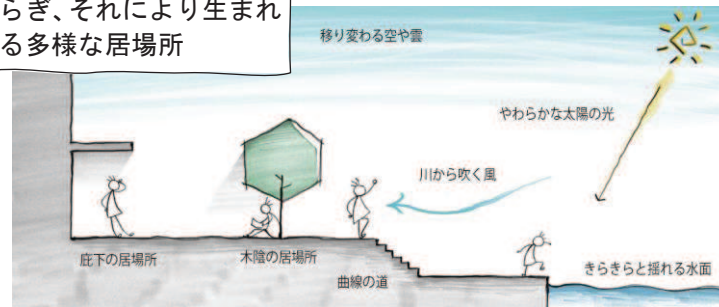
広島の風景の演出

- ・「きらきらと揺れる水面」や「やわらかな太陽の光」、「川から吹く風」、「木陰の木漏れ日」など、広島の特徴である川辺の街並みを散策する中で感じる自然の「ゆらぎ」をイメージした形や素材で館内を構成する。
- 例)・流線状の書棚や家具の配置
 - ・川をイメージした通路の設置や書架のデザイン
 - ・花や緑を効果的に配置
 - ・やわらかな印象を演出する膜天井
 - ・川面を臨む閲覧席の設置 など

特徴である川辺の風景・街並み



川辺の道を歩くことで感じる様々な自然のゆらぎ、それにより生まれる多様な居場所



自然の中にある様々な「ゆらぎ」を空間の形や素材で表現する

「ゆらぎ」を表現する形・素材



広島の伝統や文化の演出

- ・「雁木」や「とうろう流し」など、広島の伝統や文化を感じさせるモチーフを取り入れた家具や照明を設置する。
- 例)・雁木や舟をイメージしたベンチの設置
 - ・とうろう流しをイメージした照明 など

広島の伝統・文化



8階 内観検討イメージ



猿猴川側の窓 内観検討イメージ



9階 内観検討イメージ



※内観検討イメージについては、デザインコンセプトを表わすものであり、今後実施設計段階で詳細検討の上決定します。

7 バックヤード部分のレイアウトについて

(1) 閉架書庫について

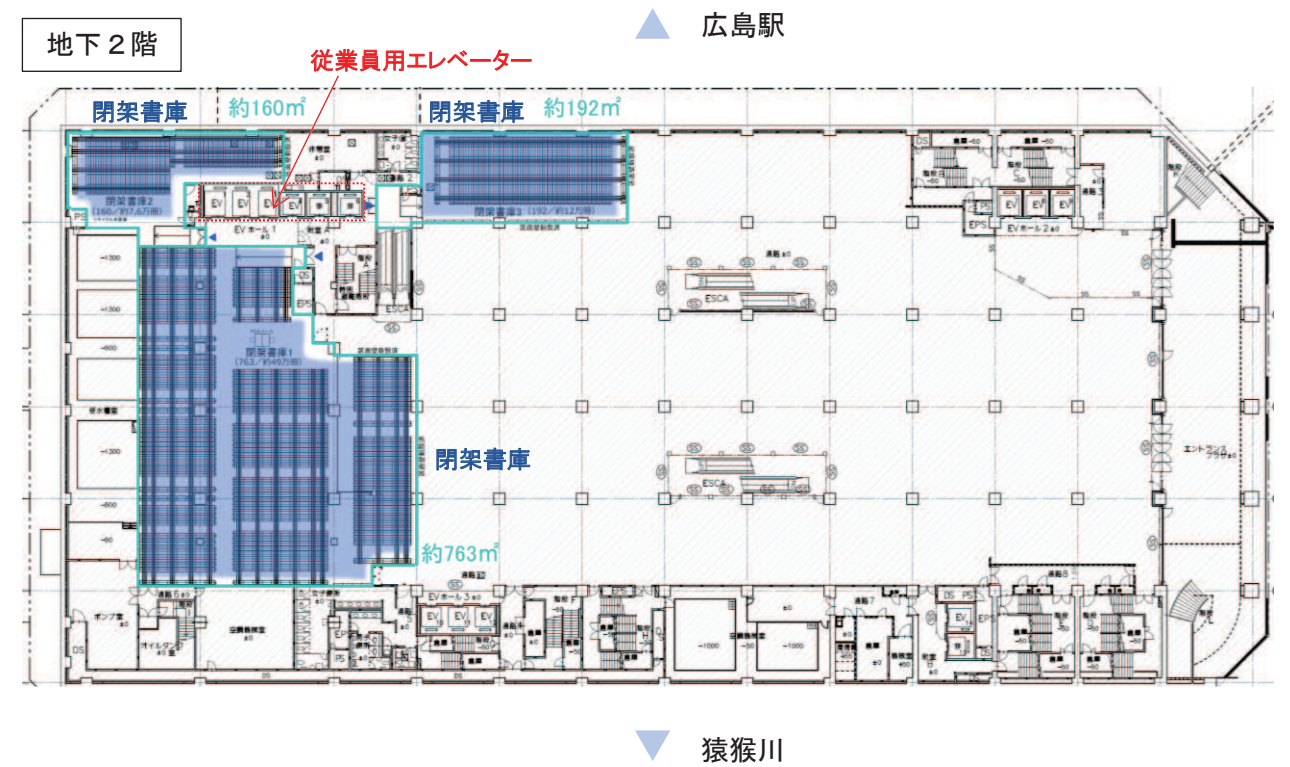
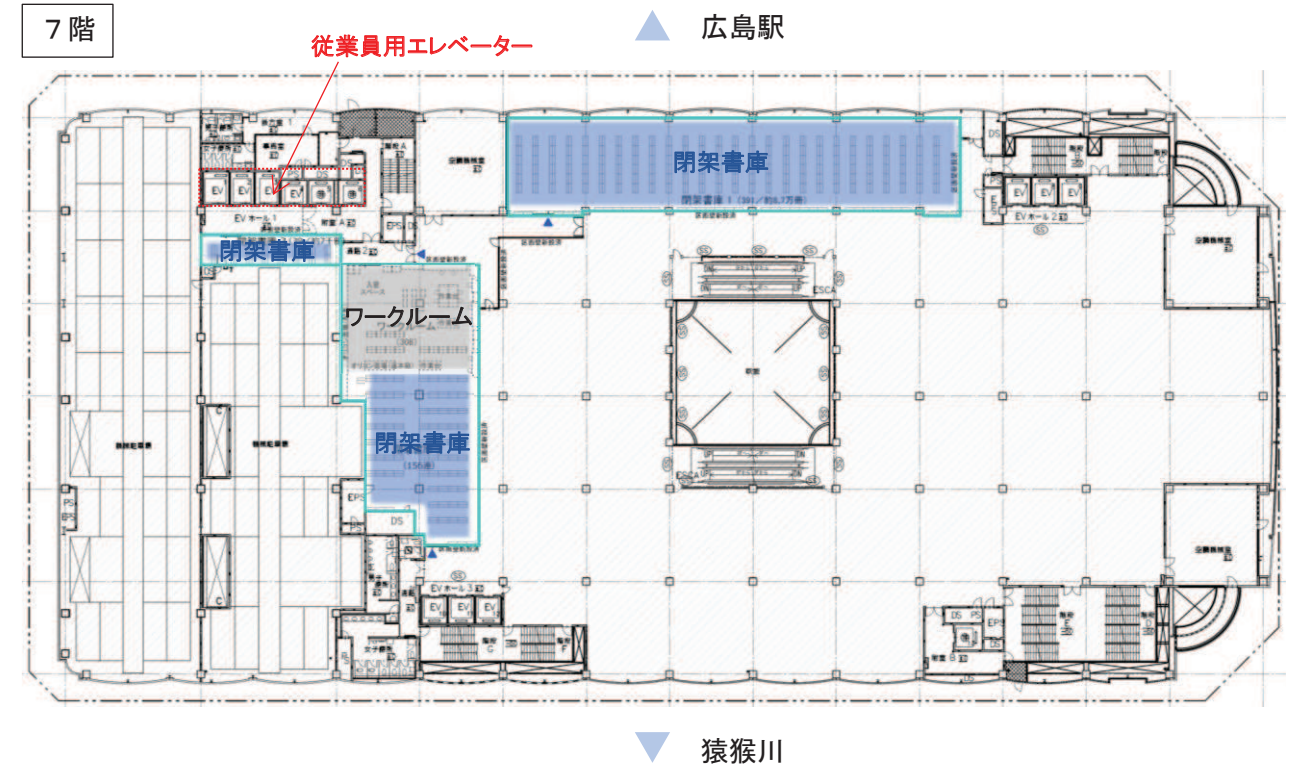
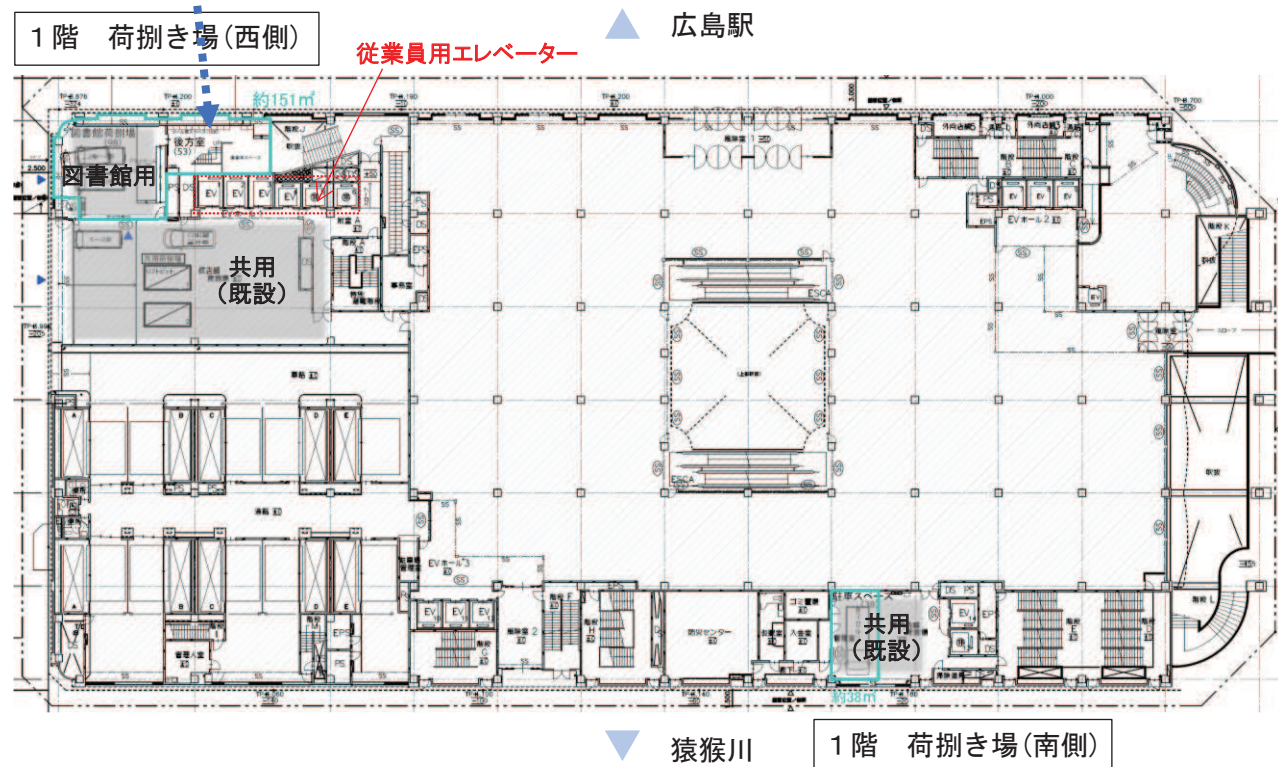
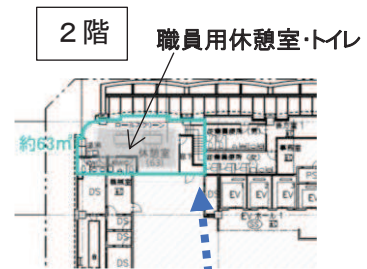
- ・従業員用エレベーターのある西側に集中的に配置し、縦移動の効率性を高める。
- ・7～10階の閉架書庫については、各階の需要に対応した蔵書を中心に配架する。
- ・9階に、温湿度管理ができる貴重書用の閉架書庫及びフィルム収蔵庫（「ならし室」を含む）を設ける。

(2) 職員用スペースについて

- ・各階の開架エリアと閉架書庫が接する部分に図書の整理等を行うワークルームを設ける。
- ・職員用休憩室を2階、8～10階の各階に確保するとともに、職員用トイレもフロア毎に設け、職員の働きやすさに配慮する。

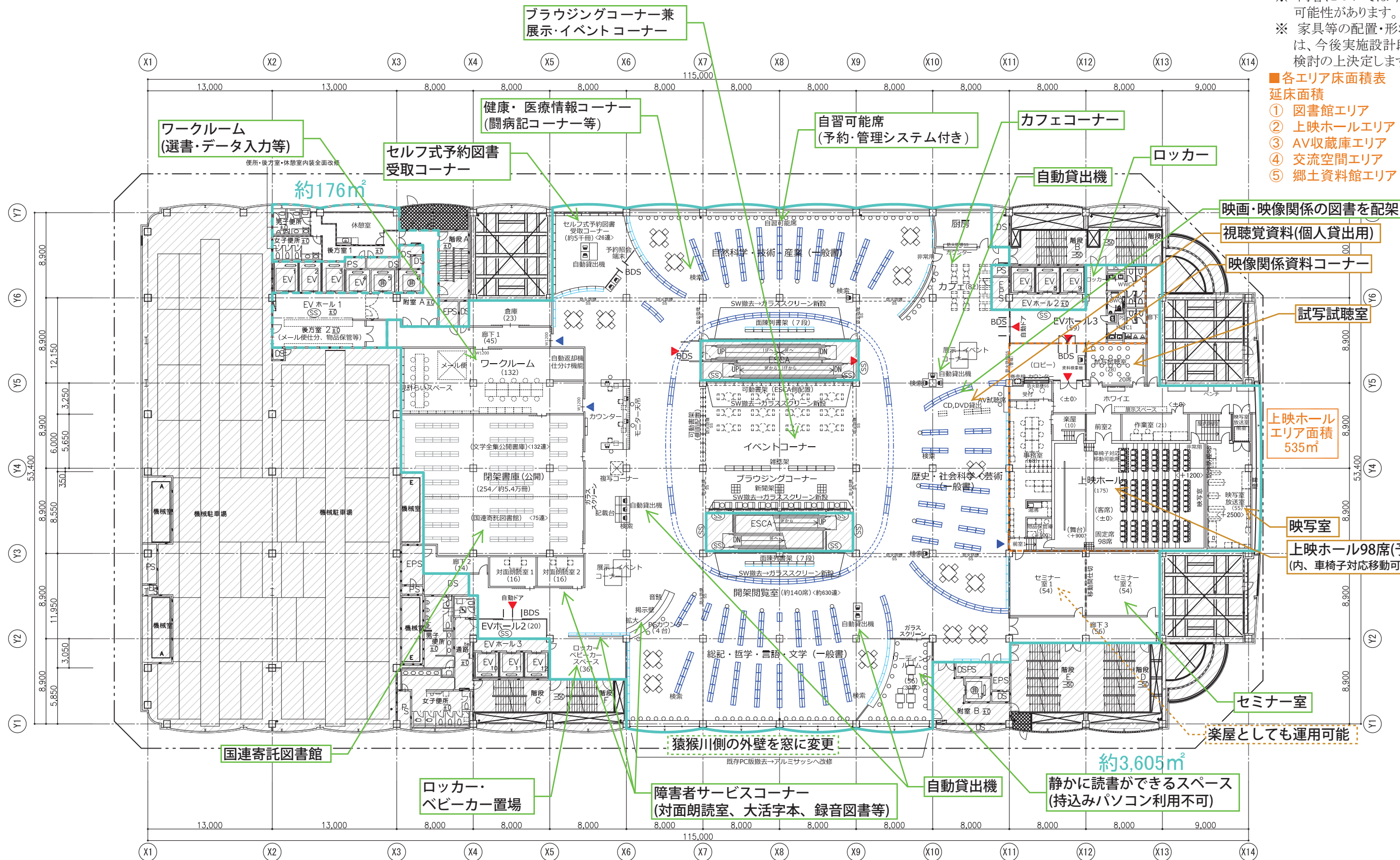
(3) 荷捌き場について

- ・1階西側及び南側に設けられているエールエールA館の共用荷捌き場に加え、西側荷捌き場に隣接する区画も図書館の荷捌き場として改修し、効率的な運用ができるようにする。



※ 内容については今後変更の可能性があり
※ 家具等の配置・形状については、今後実施設計段階で詳細検討の上決定します。

■各エリア床面積表	
延床面積	13,005㎡
① 図書館エリア	11,121㎡
② 上映ホールエリア	535㎡
③ AV収納庫エリア	540㎡
④ 交流空間エリア	476㎡
⑤ 郷土資料館エリア	333㎡



・関係諸官庁等の行政協議により変更になる場合があります
 ・必要収容冊数をレイアウト検討した計画であり、収容冊数は構造・設備等の詳細検討により変更が生じます
 ・書架レイアウトに応じた構造検討により変動が生じます

開架書架：一般書、専門書等約13万冊分

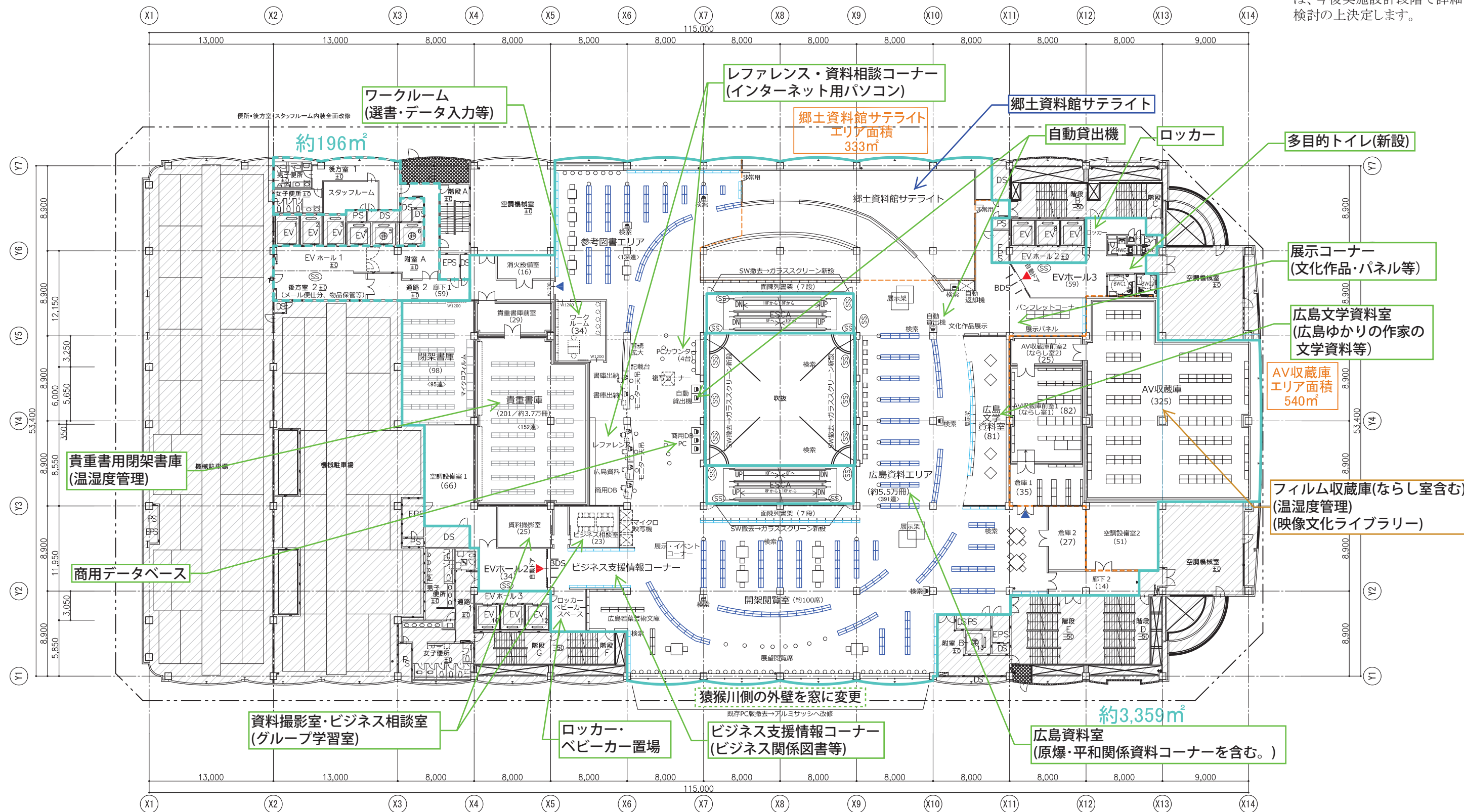
- [凡例]
- ▲ 利用者出入口
 - ▲ スタッフ出入口
 - 閉架書庫用書架
 - 4段複式書架
 - 4段単式書架
 - 6段複式書架
 - 6段単式書架

図書館改修範囲外

(約3,605㎡+176㎡)
約3,781㎡(部分)

10階 図書と映像のエリア

※ 内容については今後変更の可能性があり
 ※ 家具等の配置・形状については、今後実施設計段階で詳細検討の上決定します。



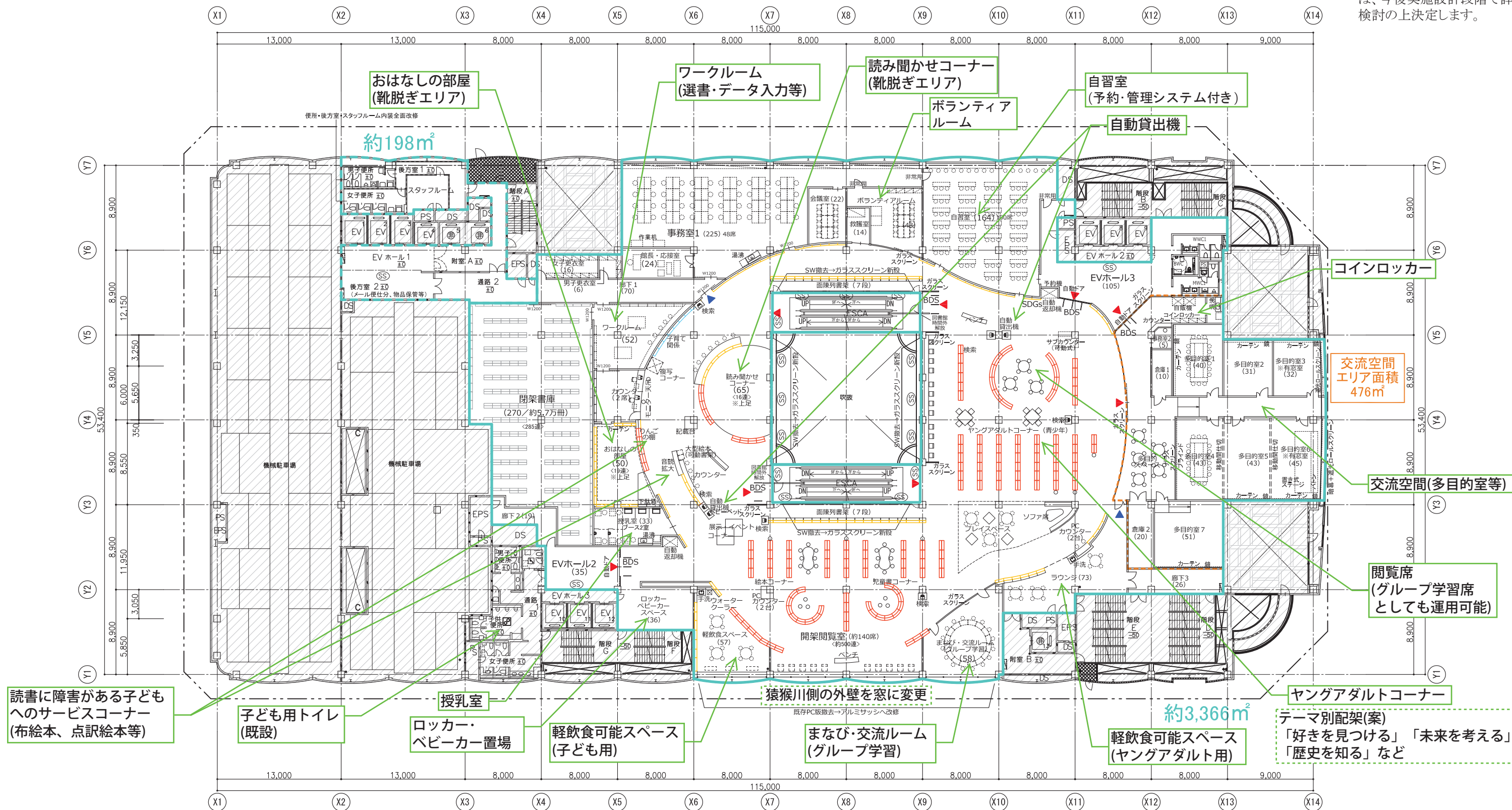
・関係諸官庁等の行政協議により変更になる場合があります
 ・必要収容冊数をレイアウト検討した計画であり、収容冊数は構造・設備等の詳細検討により変更が生じます
 ・書架レイアウトに応じた構造検討により変動が生じます

開架書架：広島関連図書等約9万冊分

[凡例]
 ● 利用者出入口
 ▲ スタッフ出入口
 ○ 閉架書庫用書架
 □ 4段複式書架
 □ 4段単式書架
 □ 6段複式書架
 □ 6段単式書架
 ▨ 図書館改修範囲外

(約3,359㎡+196㎡)
 約3,555㎡(---部分)
 9階「広島を知る」エリア

※ 内容については今後変更の可能性があり
 ※ 家具等の配置・形状については、今後実施設計段階で詳細検討の上決定します。



・関係諸官庁等の行政協議により変更になる場合があります
 ・必要収容冊数をレイアウト検討した計画であり、収容冊数は構造・設備等の詳細検討により変更が生じます
 ・書架レイアウトに応じた構造検討により変動が生じます

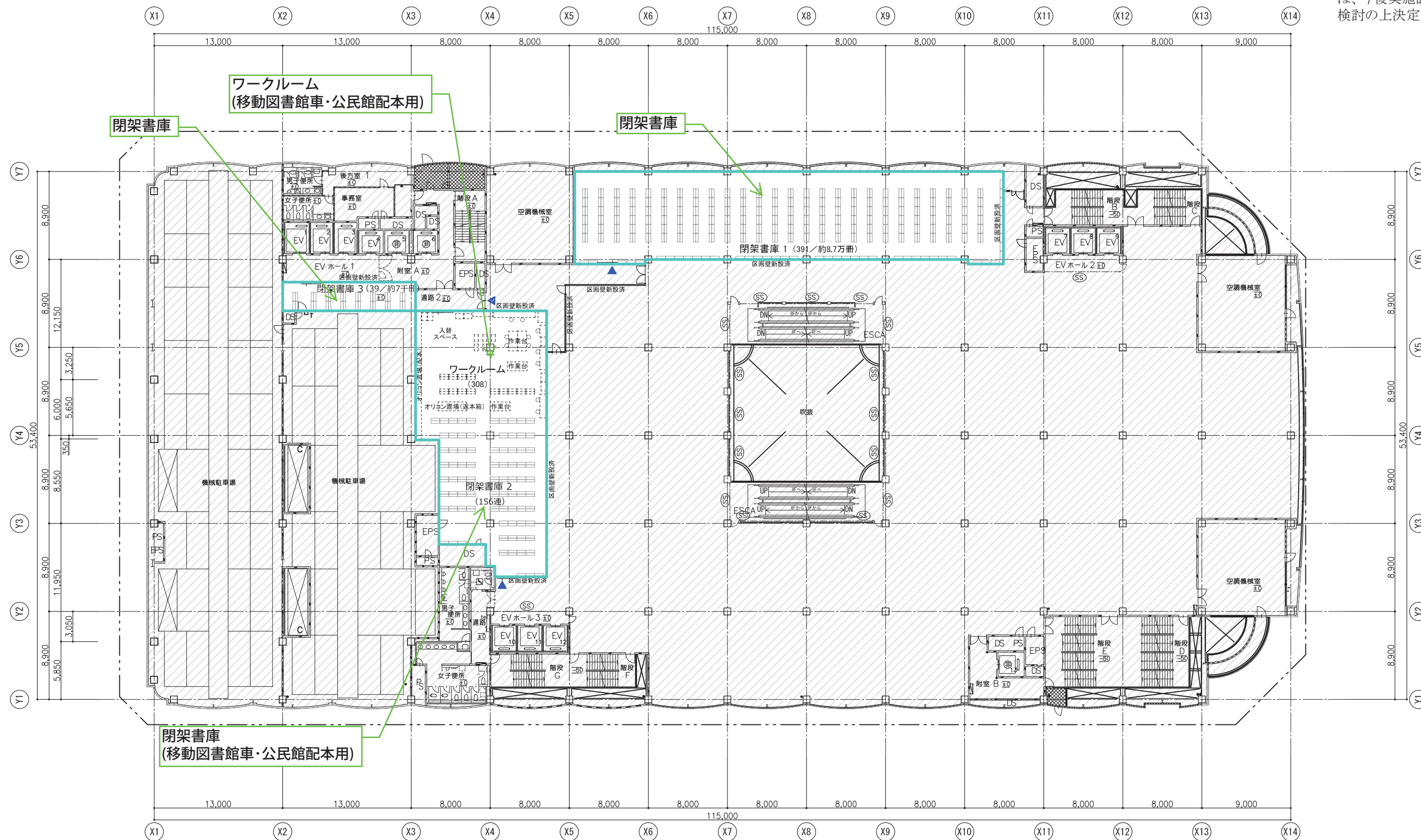
開架書架: 児童書、青少年向け図書等約6万冊分

- [凡例]
 ▲ 利用者出入口
 ▼ スタッフ出入口
 □ 開架書庫用書架
 ■ 4段複式書架
 ■ 4段単式書架
 ■ 6段複式書架
 ■ 6段単式書架

図書館改修範囲外

(約3,366㎡+198㎡)
 約3,564㎡ (---部分)
 8階 こどもと青少年のエリア

※ 内容については今後変更の可能性があり
 ※ 家具等の配置・形状については、今後実施設計段階で詳細検討の上決定します。



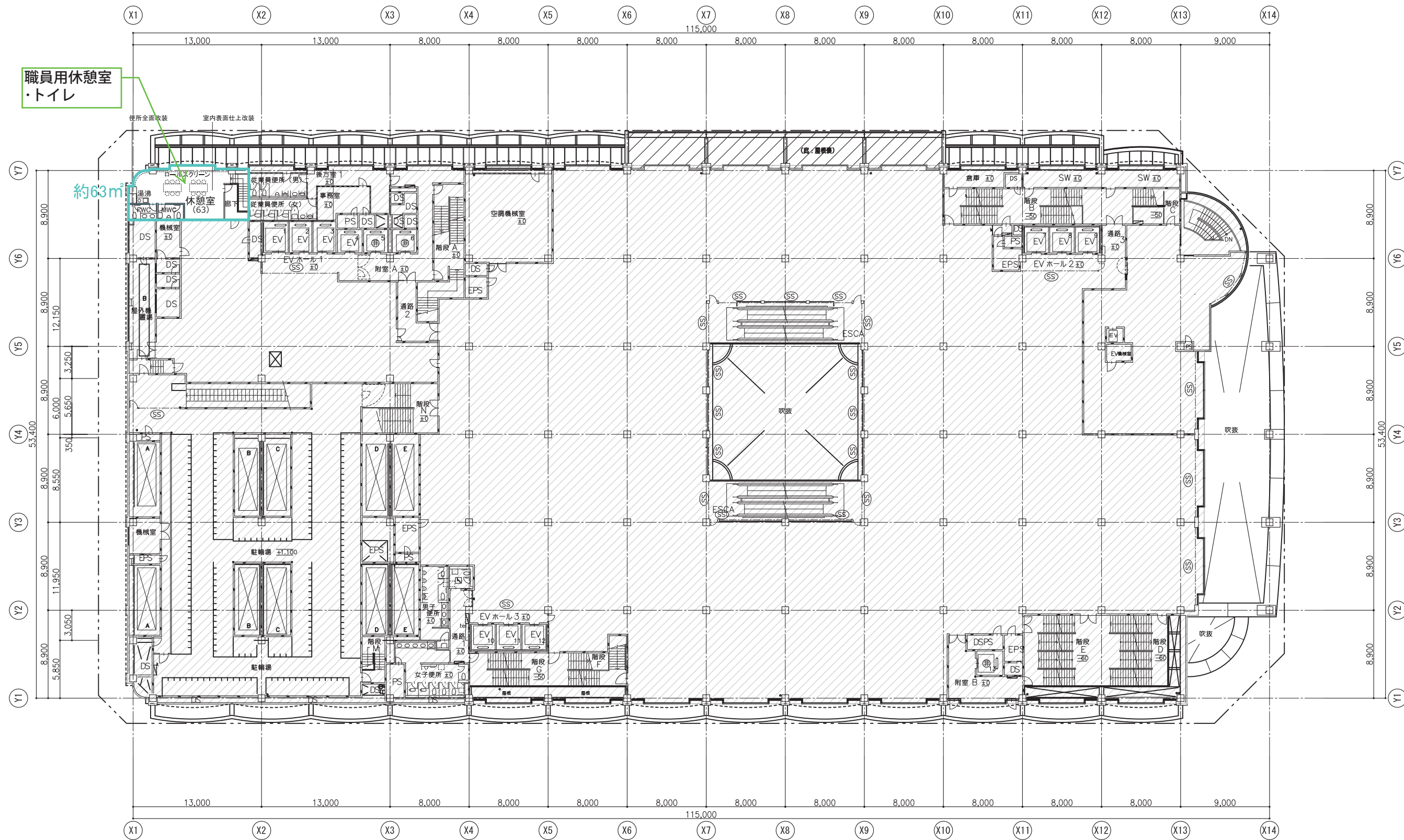
・関係諸官庁等の行政協議により変更になる場合があります
 ・必要収容冊数をレイアウト検討した計画であり、収容冊数は構造・設備等の詳細検討により変更が生じます

凡例
 ▲ 利用者出入口
 ▲ スタッフ出入口
 図書館改修範囲外
 図書館改造ゾーン

約738㎡ (一部分)

7階 閉架書庫

※ 内容については今後変更の可能性があり
 ※ 家具等の配置・形状については、今後実施設計段階で詳細検討の上決定します。

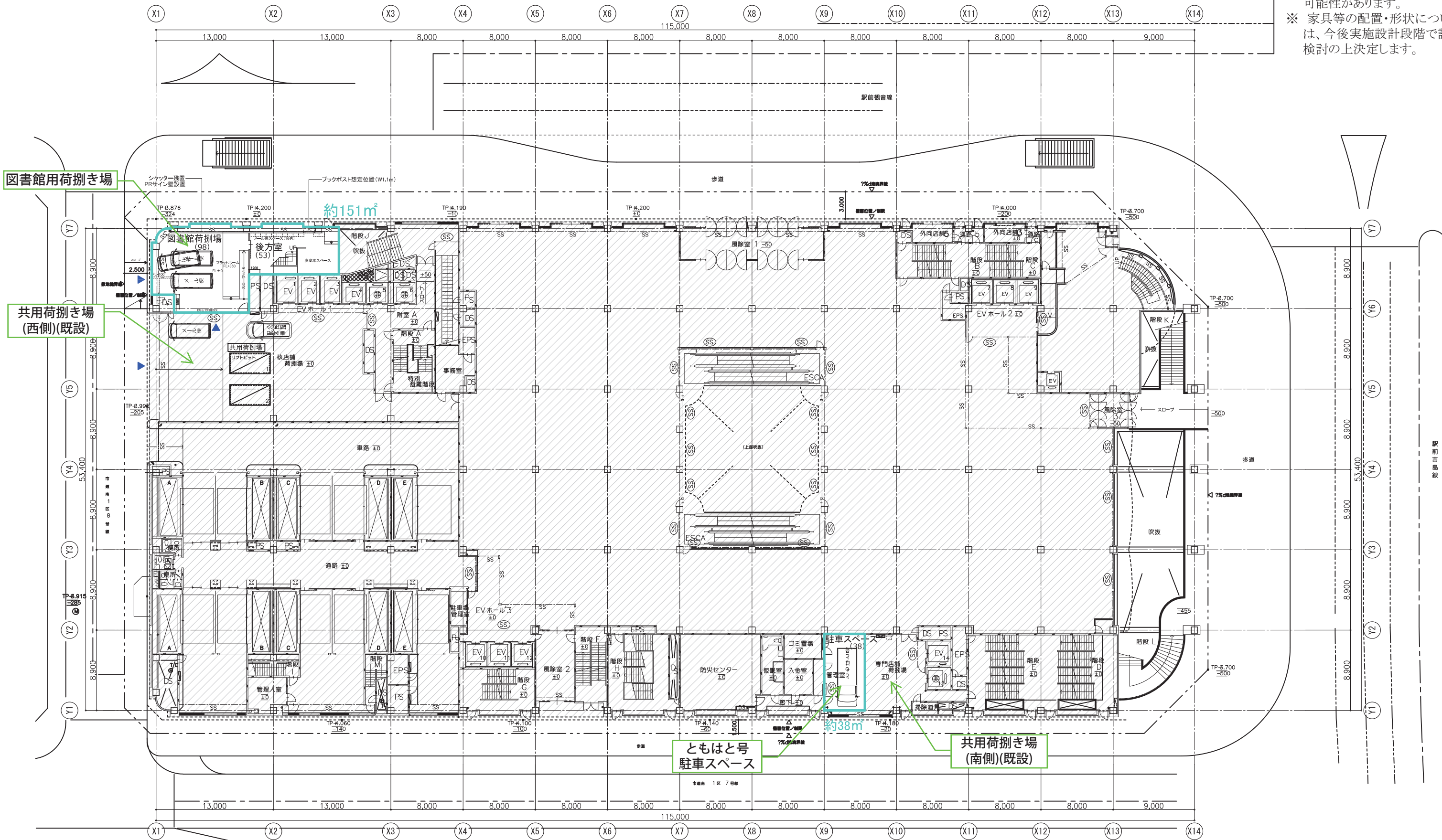


・関係諸官庁等の行政協議により変更になる場合があります
 ・必要収容冊数をレイアウト検討した計画であり、
 収容冊数は構造・設備等の詳細検討により変更が生じます

凡例
 ▲ 利用者出入口
 ▼ スタッフ出入口
 ■ 図書館改造ゾーン
 □ 図書館改修範囲外

約63㎡ (— 部分)
 2階 バックスペース

※ 内容については今後変更の可能性があり
 ※ 家具等の配置・形状については、今後実施設計段階で詳細検討の上決定します。

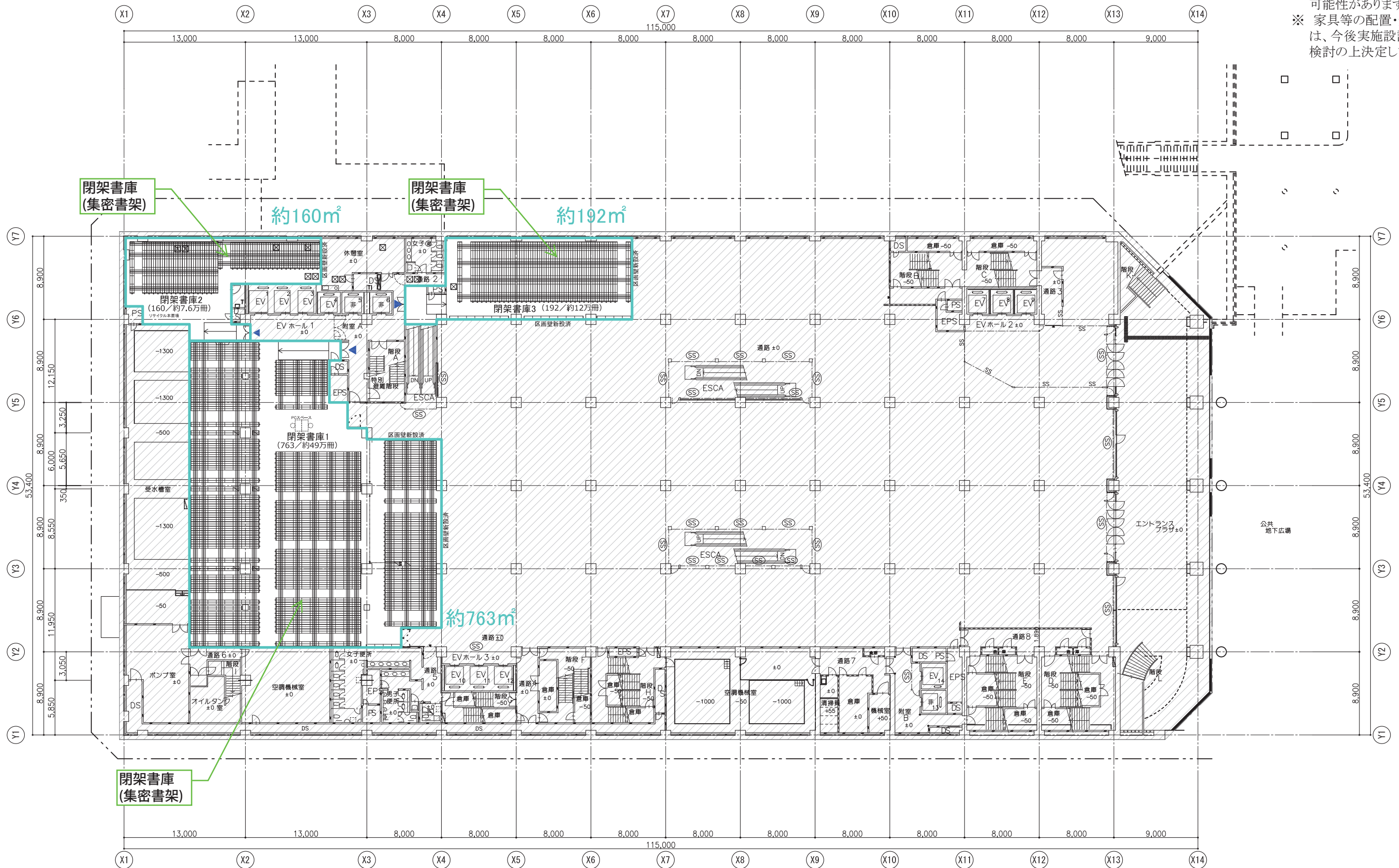


一 関係諸官庁等の行政協議により変更になる場合があります
 二 必要収容冊数をレイアウト検討した計画であり、
 収容冊数は構造・設備等の詳細検討により変更が生じます

凡例
 ▲ 利用者出入口
 ▼ スタッフ出入口
 ■ 図書館改造ゾーン
 □ 図書館改修範囲外

約189㎡ (一部分)
 1階 搬出入口

※ 内容については今後変更の可能性が
あります。
※ 家具等の配置・形状について
は、今後実施設計段階で詳細
検討の上決定します。



・関係諸官庁等の行政協議により変更になる場合があります
・必要収容冊数をレイアウト検討した計画であり、
収容冊数は構造・設備等の詳細検討により変更が生じます

凡例
 ▲ 利用者出入口
 ▼ スタッフ出入口
 ■ 図書館改造ゾーン
 □ 図書館改修範囲外

約1,115m² (—部分)

B2階 閉架書庫

中央図書館等のレイアウトに関する主な意見について

1 市民からの意見

(1) オープンハウス型説明会

○概要：図書の閲覧や展示の見学等ができるフロア（8、9、10階）のレイアウト案の展示と併せて、来場者の質問や意見等を伺う説明会

○日時：令和5年3月26日（日）及び27日（月）10：30～19：00

○会場：エールエールA館7階南側エレベーター前

○来場者数：170人 アンケート回収者数：122人

○主な意見

ア 今回の基本設計（案）に反映しているもの

- ・ 自習室（個人利用）の席数の十分な確保
- ・ グループ学習室（数人～10人程度の室を複数）の設置
- ・ 閲覧席数の増加
- ・ パソコンの持ち込みや資料を広げられる閲覧席の設置
- ・ ヤングアダルトコーナーのスペースの十分な確保
- ・ 予約本コーナー（セルフ式予約図書受取コーナー）の拡張
- ・ 吹き抜け廻りに落下防止策の措置
- ・ 親子が利用しやすくゆっくりくつろげる場所や子どもが寝転がれる場所の設置
- ・ こどもエリアの近くに育児書の配架
- ・ 飲食スペース近くに手洗い場の整備
- ・ 北側エレベーター付近にもロッカーを設置
- ・ DVD視聴のコーナー設置

イ 今後、実施設計段階や運営面での工夫により対応していくもの

- ・ いろいろな色や形、素材でリラックスできる空間づくり
- ・ 「広島を知る」エリアの充実
- ・ 死角のない書架配置
- ・ 映像文化ライブラリーの音響がセミナー室に漏れないような工夫

ウ 基本設計（案）に反映できないもの及びその理由

- ・ 上映ホールの席数の増加
【理由】新型コロナウイルス感染の影響を受ける前の平成30年度の映像文化ライブラリーの入館者数を踏まえても、現レイアウトの座席数で対応可能であり、必要に応じて、上映期間や回数で調整できると考えているため。
- ・ 図書館専用エレベーターの確保
【理由】既にエールエールA館においては、来館者用エレベーターが南北に各3基設置されており、十分に対応できると考えているため。

(2) 障害者団体説明会

○概要：ユニバーサルデザインの観点を中心に、障害者団体からの質問や意見等を聞くための説明会

○日時：令和5年4月2日（日）14：30～16：00

○会場：広島市総合福祉センター 5階 ホール

○参加：12団体（32人）

○主な意見

ア 今回の基本設計（案）に反映しているもの

- ・開架書架の間の通路幅の確保
- ・多目的トイレの設備の充実及び十分な数の確保

イ 今後、実施設計段階や運営面での工夫により対応していくもの

- ・上段の本を取ってもらうための職員の呼び出し装置の整備
- ・点字ブロックの利用しやすい配置
- ・文字表示・デジタルサイネージによる案内や避難誘導の工夫
- ・カウンターに音声認識装置の設置

ウ 基本設計（案）に反映できないもの及びその理由

- ・障害者専用エレベーターの設置

【理由】既にエールエールA館においては、来館者用エレベーターが南北に各3基設置されており、そのうち各1基が障害者優先となっているため。

2 有識者からの意見

(1) 社会教育委員会議

○日時：令和5年3月23日（木）14：00～16：00

○参加：12名（1名欠席）

○主な意見

ア 今回の基本設計（案）に反映しているもの

- ・青少年用に防音設備を備えた部屋の確保
- ・図書館職員やボランティアがやる気をもって働けるような工夫
- ・8階から屋上までを繋げる空間づくり

イ 今後、実施設計段階や運営面での工夫により対応していくもの

- ・死角ができない書架の配置
- ・未来に想いを馳せられるような広島文学資料室の整備
- ・平和学習資料について学べる展示コーナーの設置

(2) 図書館協議会

○日時：令和5年3月24日（金）10：00～11：40

○参加：6名（3名欠席）

○主な意見

ア 今回の基本設計（案）に反映しているもの

- ・ 静かに過ごす場としゃべったりしてリラックスする場の両立が図れる工夫
- ・ 書籍を利用する学習スペースや閲覧スペースの十分な確保
- ・ 子どもへの読み聞かせをする場所について現場の声を十分に聞いた検討
- ・ 授乳スペースの配置等について十分な検討
- ・ ヤングアダルトのスペースの十分な確保
- ・ 書棚の向きや高さに至る詳細についても司書からの十分な意見聴取
- ・ 広島駅から図書館に入り、図書館から市内へ送り出していくような施設の整備

イ 今後、実施設計段階や運営面での工夫により対応していくもの

- ・ 高い本棚で視界を遮られないような工夫